

青森県 ホタテ

企業名: 成邦商事株式会社

- (成果) 2014年4月、青森県からのEU向け冷凍ホタテ輸出が120トンほど再開し、今後の本格輸出再開に向けた足がかりとなった。
- 成邦商事(株)は、現時点で、青森県内唯一のEU向け冷凍ホタテ輸出対応加工認定(EU向HACCP)取得工場で、震災前は500トン近くの輸出をしてきたが、2011年の震災、原発事故でEU向輸出が低迷、2011年は輸出がゼロ、2012年に78トン、2013年ゼロであった。
- 青森県産ホタテに、EUは放射能検査を求めているが、従来のバイヤーからは、放射能への風評が懸念がされたことから、同社は独自に放射能検査を行い、安全性を確認してきた。輸出が止まる中、円高や中南米産ホタテとの競合もあり、EU市場参入へのハードルは一層高くなっていた。
- 2014年2月、青森産EU向けホタテ輸出の再開に向け、ジェトロは輸出が継続している北海道と連携して、フランス・パリにてホタテの商談会を開催。フランス人シェフによる青森産ホタテ料理の試食会も併催。冷凍技術や、素材の良さも高く評価され、今回の商談成約に繋がった。青森産は現状、EU対応のモニタリングが実施されている12~3月収穫の卵付ホタテがEU向けに輸出できる。



青森産卵付冷凍ホタテ



(写真左)
青森県野辺地漁港にて、陸奥湾で採れ立てのホタテを試食するフランス人シェフ。
(写真右)
2月にパリで開催したホタテ商談会。



パリにて、青森産ホタテを紹介



青森産ホタテの料理実演

宮城県 水産加工業

企業名：石巻「日高見の国」グループ

- 東日本大震災で県推定被害額約350億円と壊滅的な被害を受けた石巻市の水産加工等事業者5社（設立時）が、従来のライバル関係を乗り越え、統一ブランド「日高見の国」を結成。JETROは「日高見の国」の海外展開を積極的に支援。また東北経済産業局や地元自治体にも協力を依頼し、複数機関での連携支援モデルとした。2013年度よりジャパンブランド育成支援事業に認定。
- 2013年度にはJETROが主催した香港やタイ、シンガポールの展示会に出品して販路を開拓。開催期間中はJETRO仙台の担当者が同行し、売込手法のアドバイスや事後のフォローアップも木目細かく支援した。この結果、これまでに香港に牡蠣加工品や珍味等の輸出が実現。香港バイヤーが石巻現地へ視察訪問、商談を行う等、バイヤーとの友好的な関係を築いている。
- 2014年度は香港を重点とし、台湾、タイの展示会出展やマレーシア、タイ、シンガポール、香港の展示会・商談会に参加。6月の台湾展示会がきっかけとなり、初めてホタテ加工品を20ftコンテナで輸出を12月に実現。継続的な輸出実現に向けて、2015年2月末に現地を訪問して商談予定。



香港Food Expo2013出展



宮城県知事表敬
2013年7月24日



香港バイヤー石巻「日高見」企業
訪問視察2014年3月

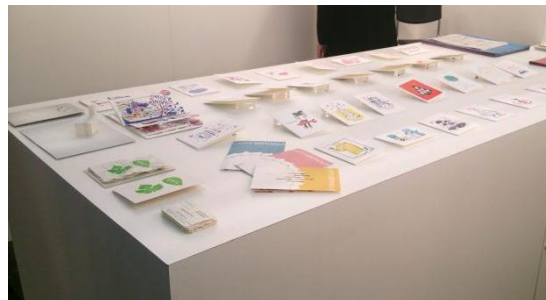


香港現地バイヤーとの商談
2014年7月

宮城県 印刷(グリーティングカード)

企業名 今野印刷株式会社

- 創業から100年以上の歴史を持つ今野印刷社は、イラスト入り年賀状の東北地方でのトップシェア企業。また、活版印刷機を用いた1枚1枚手刷りのグリーティングカードを主力商品として海外展開に取り組んでいる。
- 米国市場開拓を目指し、NYIGF(インターナショナル・ギフト・フェア)2011夏展(11年8月)でのジャパンパビリオン出展をはじめ、2013冬展まで計4回出展。
- 日用品・ギフト輸出展示商談会 in 大阪(13年10月)、デザイン雑貨・伝統産品分野「輸出商談会」in 盛岡(14年2月)、東北デザイン分野輸出商談会in仙台(14年9月)に参加。
- 2015年1月のメゾン・エ・オブジェに出展。
- NYIGF冬展(13年1月)では米国バイヤーと成約、メゾン・エ・オブジェではフランス、ドイツ、シンガポールなどのバイヤーと成約。



宮城県 スツール

企業名：株式会社石巻工房

- 同社は、東日本大震災による津波によって大きな被害を受けたエリアにおいて、住宅などの復旧・復興のために自由に使える公共的な施設としてスタートした。
- 石巻工房は、輸出経験はあるものの、シンガポールでの販路拡大の試みは、ジェトロとシンガポール・デザイン庁が共催で実施した「Hidden-Unveiling Japanese Design 日本のデザイン2014@シンガポール」(2014年10月3日～24日)への出展がはじめての機会となった。
- つなげても、ひとつでも、発想次第で新しい使い道もできるAA-STOOLや、おでかけのときに気軽に運んだり座ったりできる日常使いのCARRY-STOOLを展示会場1階に展示したところ、一般来場者の人気を集め、全121品目展示された中で、人気度が2位(AA-STOOL)と8位(CARRY-STOOL)となった。
- ビジネスデーでは15件の商談を行い、そのうち5件・約160万円が成約、他の10件が成約見込み。展示会終了後も、6件の商談オファーが来た。
- 担当者からは、「シンガポールで初めての出展でしたので、アジアの方々にお見せできる機会ができ、大変良かった。ビジネスデー半日で集中して商談を行い、とても効率が良いと思います。」とのコメントをいただいた。



主な成功事例

福島県 医療福祉関連機器

地域間交流支援(RIT)事業 福島県-ドイツ・NRW州案件

福島県商工労働部 産業創出課
医療関連産業集積推進室
福島県医療機器関連中小企業群

ジェトロ
福島

*2012年度は事前
調査事業として
調査を実施。

2013年度～

ジェトロ
デュッセル
ドルフ

NRW州経済省

各都市の企業群および医療クラスター
NRW INTERNATIONAL

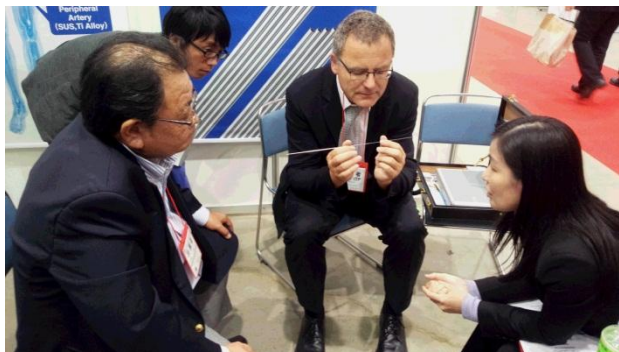
RIT事業による
ビジネス交流



- 福島県企業の製品の輸出やドイツ・NRW州企業との技術提携、共同製品開発等様々なコラボレーションを創出することによって、震災後の福島県(地域経済)の活性化に資することを目指して事業を実施。
- 調査、ミッション派遣、有力企業招聘等をおこない、2年間で75件の商談を実施し、15件の成約(見込含)を達成。



前ふくしま県知事のドイツ企業ブース訪問



REIFふくしま2014での商談風景



ドイツで日独医療機器セミナーの実施

福島県 食品(桃加工品)

企業名 あぶくま食品株式会社

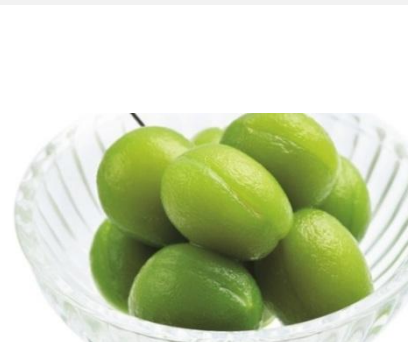
- 昭和47年創業の漬物専門製造業者。工場は品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001、2000認証を取得。食の安全性を追求。
- 平成20年10月 中小企業地域資源活用法に基づく地域資源事業計画認定を受け開発した主力商品「若桃の甘露煮」は、着色料、保存料は無添加で、独自製法(特許取得済)で種まで丸ごと食べることができ、果肉や種子部を均一な食感に仕上げたのが特徴。
- 2013年3月、震災復興支援(ブース、渡航費等無料)を受け、英「IFE」に初出展。その後、香港「HOFEX」(2013年5月7日～10日)にも出展したが、欧米に絞った販路開拓に取り組むことに。
- 2013年9月、輸出有望案件発掘支援事業として採択され、同年ドイツ「ANUGA」に出展。今年度は米国「Fancy Food Summer」、フランス「SIAL」に出展するなど力強く販路拡大に邁進している。現在、ロンドン、香港、ドイツなどから受注し、今年度は輸出実績を上げている。



IFE ジャパンブース



IFE あぶくま食品ブース



若桃の甘露煮 盛り付け例



若桃の甘露煮 パッケージ

福島県 大堀相馬焼(陶器)

企業名：株式会社ガッチ (大堀相馬焼松永窯)

- 原発から20キロ圏内にある福島県浪江町の伝統工芸品大堀相馬焼の窯元である松永窯は、東日本大震災の影響で避難を余儀なくされ、避難先の福島県西郷村で2014年4月に事業を再開した。
- 専門家による新興国進出個別支援サービスを利用し、2014年12月専門家と中国へ売り込みに行った結果、デパートとの商談が決まり輸出に成功した。
- 中国にて代理店候補となる企業も見つけ、販売量の増加を見込んでいる。



東日本大震災にて崩壊した松永窯(福島県浪江町)



福島県西郷村で再開した松永窯



大堀相馬焼

福島県 ヒノキ製品

企業名：株式会社光大産業

- キッチン用品などの家庭用木製品メーカー。震災により工場は被災し物流が停止した。風評被害に遭い西日本での販売が急減。売上の回復と雇用を守るため海外販路開拓を決意。
- 震災後の2012年1月に「ニューヨーク国際ギフトフェア」に出展（出展料、渡航費は無料）。その後も継続して海外展示会に出展し、また、ジェトロの輸出有望案件企業に採択され、ジェトロ専門家から海外企業とのやりとりのノウハウや必要書類等のアドバイスを得ながら、粘り強く海外展開を実施。
- 2014年2月、米国に向けて20フィートコンテナ1本分のヒノキのまな板の輸出が実現。その後継続的なオーダーが来ているほか、現在欧州市場も開拓を開始している。



まな板



寿司用トレー



Chicago Home and Housewares show 2013